	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	
教養科目群	音楽(1) 文章表現(5) 体育(実技)(5) 英語(5) 日本国憲法(5) 情報教育入門(機器操作を含む)(5) 教養基礎演習Ⅰ(4・5) インターンシップⅠ(4・5) キャリアアップ教育Ⅰ(4・5)	教養基礎演習Ⅱ(4・5)	図画工作(1) 体育(講義)(5) インターンシップⅡ(4・5) キャリアアップ教育Ⅱ(4・5)		国語(1) 情報リテラシー演習(5) キャリアアップ教育Ⅲ(4・5)		キャリアアップ教育Ⅳ(4・5)
専門基礎科目群 保育の目的	保育原理(1) 教職論(1) 社会福祉論(1) 子ども家庭福祉(1)		教育原理(1) 障がい者福祉論(1) 社会的養護Ⅰ(1)		子ども家庭支援論(1)		教育制度論(1)
専門基礎科目群 対象理解	発達心理学(1・2) 子どもの保健(1・2)		子ども家庭支援の心理学(1・2) 特別支援教育論(1・2) 子どもの食と栄養(1・2)		幼児理解(1・2) 子どもの健康と安全(1・2)		保育・教育相談演習(1・2)
専門応用科目群	表現技術Ⅰ(2)		表現技術Ⅱ(2)		表現技術Ⅲ(2) 子どもの言語表現(2) 子どもの造形表現Ⅰ(2) 子どもの音楽表現Ⅰ(2)		保育臨床相談(2) 福祉・保育の思想(3) 障がいのある人の発達保障(3) 地域課題演習(3) 社会的養護Ⅲ(3) 総合表現(2) 子どもの造形表現Ⅱ(2) 子どもの音楽表現Ⅱ(2)
専門基礎科目群 保育の内容・方法	幼児と言葉(1・2) 保育内容（言葉）(1・2) ピアノ表現(1・2) 乳児保育Ⅰ(1)		幼児と表現(1・2) 保育内容（表現）(1・2) 幼児と環境(1・2) 幼児と人間関係(1・2) 幼児と健康(1・2) 保育内容（総論）(1・2) 教育課程論(1) 乳児保育Ⅱ(2) 保育の計画と評価(1) 障がい児保育(1・2)		保育内容（環境）(1・2) 保育内容（人間関係）(1・2) 保育内容（健康）(1・2) 教育方法論(1・2) 社会的養護Ⅱ(1・2)		子育て支援演習(1・2)
専門実践科目群	保育実習指導Ⅰa(6) 地域実践演習Ⅰ(6)		保育実習Ⅰa(6) 保育実習指導Ⅰb(6) 保育実習Ⅰb(6) 教育実習指導Ⅰ(6) 地域実践演習Ⅱ(6)		保育実習指導Ⅱ(6) 保育実習指導Ⅲ(6) 教育実習指導Ⅱ(6)		保育実習Ⅱ(6) 保育実習Ⅲ(6) 幼稚園実習(6)
専門研究科目群	保育ゼミナールⅠ(6)		保育ゼミナールⅡ(6) 保育研究法(6)		保育ゼミナールⅢ(6)		保育ゼミナールⅣ(6) 保育・教職実践演習(6)

※ 各科目に該当するDPを（ ）内に示す。なお，（6）はDP1～5全体に該当することを表す。

到達目標	【1セメスター】(保育理解の基礎) ・現代教育及び保育や教職に関する基礎的素養を身に付け、専門科目の理解を助長するための基盤をつくる。 ・福祉や教育の基本について理解し、その意義や歴史及び制度の基礎的理解を図り、保育者や保育の全体像について学ぶ。 ・子どもの心身の発達と学習の過程を理解する。 ・保育における様々な表現技術の基礎的な理解を図る。 ・実習に向けての準備を行い、実習に必要な手続きや技能、実習記録の書き方を学ぶ。 ・学生自ら社会的・職業的自立に向けたキャリア形成の意識をもつ。	【2セメスター】(保育理解の深化) ・保育の全体的な計画及び教育課程の意義や編成、社会的養護の意義や体系について理解する。 ・特別な支援を要する子どもや生涯発達に関する基本について学び、子育て家庭をめぐる諸課題について理解する。 ・保育内容に関する基本的な考え方、養護と教育の一体性を踏まえた保育や保育内容の指導法を理解する。 ・基礎的な表現技術や表現技能を修得する。 ・保育実習を通して、保育者の保育活動を体験し、保育の方法や児童福祉施設の社会的な役割について理解する。また、子ども一人ひとりの心身の発達の様相に関する理解を深める。 ・実習やボランティアを通して、仕事に向かう意欲や態度を育成し、保育者になるために必要な基盤となる能力や態度を修得する。	【3セメスター】(基礎的実践力の修得と発展) ・保育内容の指導法を理解し、幼児期の発達特性を踏まえた保育及び教育の方法や技術を修得する。 ・家庭、保育現場、子どもを取り巻く諸問題に対して援助指導を行うために必要な基礎知識や技法を理解し、保育相談や教育相談の力を身に付ける。 ・基礎的な表現技術や表現技能を応用し、多彩な表現活動のための実践力を身に付ける。 ・幼稚園実習及び保育実習を通して、子どもの集団的・個別的援助に対する実践力を培う。また、幼稚園及び児童福祉施設の社会的な役割に関する現状と課題を理解する。 ・様々な学習を通して、自分の能力や課題を省察し、子ども観や福祉観を形成する。	【4セメスター】（専門性の深化と探求） ・子どもの表現や豊かな感性の育ちを引き出し、支える保育をするために、様々な表現活動や遊びを展開していく実践力を身に付ける。 ・保育の専門性を背景とした子育て支援や援助指導の実践力を身に付ける。 ・2年間の学びを統括し、さらなる保育者としての資質能力の向上をめざし、保育に関する基礎技能を高めると同時に、子どもの成長発達に則した多様な保育活動が実践できる力を身に付ける。 ・保育や教育を取り巻く諸問題に関して、問題意識をもち、積極的に探究する。また、地域社会の動向や福祉政策の仕組みを洞察し、それに関する課題を自ら抽出分析し、解決する方法を提案できる。

DP 1
保育や幼児教育に関する基礎的な知識を身に付けている。

DP 2
子どもの育ちを支えるための技能を身に付けている。

DP 3
子どもの人権を保障し、子どもを取り巻く諸課題の解決に向けて自ら考える力を身に付けている。

DP 4
異なる価値観を認め合い、自ら人間関係を形成する力を身に付けている。

DP 5
地域社会の一員として、保育実践力や社会性を高めようとする力を身に付けている。